



紫雲児の心

1学期:《習慣・組織確立期》 基本的な生活習慣及び学習習慣を身に付け、各組織の基礎をつくろう。

～思考力・判断力・表現力～

校長 中村 聡

中学校で皆さんに、どんな学力を身に付けて欲しいかお話しします。

私は、皆さんに「思考力・判断力・表現力」という力を意識して学習して欲しいと願っています。思考力とは考える力です。そして、さまざまな情報や知識を基にして考え抜いた末に、よりよいと思われるものを選択する力が判断力。さらに、その判断したことを人に伝えたり、行動に移したりする力が表現力。表現の方法はいろいろです。文章に書いたり、話したり、グラフや表・図を使ってプレゼンテーションを作ったり…。そんな「思考力・判断力・表現力」は、皆さんのこれからの人生を豊かにします。ここで、皆さんの思考力を少し試してみたいと思います。簡単な問題を出します。自分の頭で考え、判断し、近くの友だちと確かめ合ってください。

4人の子どもが100m競争をしたあとの会話

- A「僕はC君より速かった」
- B「僕はD君より速かった」
- C「僕とA君のあいだに1人いた」
- D「僕はA君より遅かった」

4人の順位は？

(多湖輝著「50歳からの頭の体操」から)

正解は「ABCD」。えっ！本当ですか？実はもう一つ正解があります。「BADC」。

これだけの条件では、正解は一つに定まらないんです。答えを一つ見つけると、安心してしまい、吟味することを忘れてしまいがちです。答えが出ても、「もっと別な状況は考えられないか、もっと別な考え方はないか、足りない条件はないか」など疑ってみることも大切です。「もうひとつ情報があれば確定できるのにな。例えば、D君の前に何人いたか、等」ということに気付いて質問できる力が本当の『思考力』。授業でも同じ。教科書に書いてあることや先生の説明を聞いて、「なぜ?」「どうして?」「こういう考え方もあるんじゃない?」という疑問を持つことが大事。疑問をもったら、質問したり、友だちと相談したりすることが大事。日本人の宇宙飛行士；若田光一さんが「一瞬で判断する力」という本でこんなことを書いています。

「愚かな質問はない」。私たちは日頃、すべき質問をしないで理解したつもりになっていることが多い。理解したつもりが危ない。質問は自らの理解を深めるためでもある。何より「質問する」という行為自体が、自分の頭で考え、「理解できている部分」と「そうでない部分」を明確に分別する。質問するという姿勢は「私はその問題に関心がある」ということを相手に示し、周りからの信頼を勝ち得ることになる。

『疑問を持つこと、質問すること』は、日常の生活においても大切です。昨年度、「新発田市わたしの主張大会」で、ある中学校の生徒がこんな発表をしていました。

私たちがメディアと上手に付き合うためには、一つのメディアからの情報を鵜呑みにせず、疑問を持ち、いろいろな方向や立場から見る事が大切だ。

同じ出来事でも、日本のTVで放映されているニュースとアメリカなど他の外国で放映されているニュースではそれぞれ若干ニュアンスが違わらしいです。皆さんも、日頃から、批判的・多面的にものごとを思考する習慣を身に付けてもらいたいと思います。そして、質問することを恐れなくてももらいたいと思います。そうすることで、考えることが楽しくなります。そして、考えたことや分かったことを人に伝えたくくなります。これが「思考力・判断力・表現力」という学力です。皆さんのさらなる成長を期待しています。

生徒指導講演会 演題 「心豊かな人間関係を目指して」

6月16日(金)の5・6限に、堀之内高等学校の渡辺進先生をお招きして、生徒指導講演会を行いました。講演会では、最初に「身体ほぐし」「頭ほぐし」「心ほぐし」の活動を行いました。楽しく活動をした後は、「友達づくりのコツ」など、人間関係作りのポイントや上手なコミュニケーションのとり方、前向きな生き方について、ご講演いただきました。



友達づくりのコツ 「まえきたわ」

- ①心が豊かそうな人の**ま**ねをする
- ②**え**がお、身だしなみ、あいさつを心がける
- ③**き**ょうつうの話題・趣味・関心をもつ
- ④人を**た**すける
- ⑤人の**わ**る口や陰口を言わない

新発田市同和問題PTA講座 (第1回: 6月1日、第2回: 6月20日)

第1回は、新発田市教育委員会 岩村 守 指導主事を講師に行われました。

新発田市は、1997年に人権擁護都市宣言を行い、市民一人ひとりの人権が尊重され、部落差別をはじめとする、あらゆる差別や偏見のない「人権のまちづくり」をめざして取組を進めています。その人権教育の中核にあるのは同和教育であり、同和教育を進めることによって、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす取組をしています。学校では、副読本『生きる』I～IVを使った授業を行い、学習を進めていることにご理解とご協力をお願いします。

最後に、人権感覚とは、その人の誇りに敬意を払えること、その人の存在に敬意をもてることである。『差別』の反対語は、『尊敬』です。という言葉で締めくくりました。

第2回は、DVD「その時歴史が動いた 人間は尊敬すべきものだ～全国水平社・差別との戦い～」を視聴しました。「古くから人々は他人との違いを見つけては自らを高い位置においてきました。これに対し今から86年前、『人間は誰もが尊敬すべき存在である』という水平社宣言をした男が西光万吉でした」で始まる、被差別部落の人々が差別をなくすことを目指し、「水平社」を立ち上げ、差別と戦い続ける姿を描いたものです。差別される人々に対し「かわいそう」という「同情」をもつこと自体が、すでに上から目線で相手を見下す差別なのだということを痛烈に教えてもらいました。

また、「現在もなお部落差別は存在する」「基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであること」という認識の下、部落差別解消の推進に関する基本理念を定めたものが「部落差別の解消の推進に関する法律(2016.12.16 施行)」です。私たちも、このことをしっかり捉え、部落差別解消に向けて自分のできること、例えば新発田市「本人通知制度」などに積極的に登録するなど行動化しなければと強く思いました。

7月の予定



3日(月)	Webテスト 6限なし	24日(月)	体育祭準備活動⑤
4日(火)	下越地区総体(～5日)	25日(火)	体育祭結団式
10日(月)	1学期個別面談①～④(～13日) 体育祭準備活動①～④(～13日)	26日(水)	1学期終業式 県大会報告会
13日(木)	PTA地区委員会(19:00～)		北信越大会激励会
14日(金)	通信陸上大会(新潟市) 漢字検定	27日(木)	長岡平和記念学習(2名参加) 夏季休業開始(～8月29日) 学習会①～③(～28日、31日) 体育祭軍団活動①～③(3年) (～28日、31日)
18日(火)	県大会激励会		
19日(水)	上級学校訪問(3年)		
22日(土)	「私の主張」大会(生涯学習センター) 県総体(～23日)		